



ゆり北

第66号(7期第5号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話 03 (938) 9181 番

発行責任者 吉柳俊孝

駐車場問題

(1) 駐車場の現状

ゆりの木北住宅では二三八台の駐車場があり、住宅戸数に対する設置率は三〇%です。これに対して自動車の保有は、六〇%強(都駐車場公社の調査)と思われます。溢れたものは近隣の駐車場を利用しています。が、一部路上駐車・団地内不法駐車も見られます。なおこの調査によれば、今後の保有希望は二〇%位あります。駐車場の絶対的不足は否めません。

(2) 住民の意見

(a) 増設を求める意見

新聞討論では約半数の方が駐車場の増設・立体化・民間駐車場の借り上げ等により具体的な解決策を提案されています。基本的には住宅計画時点での見通しの甘さを指摘する意見もありました。

(b) 反対の意見

騒音・排気ガス・交通事故などの点から駐車場の増設に反対の意見も二割近くあります。特にこの団地の

新聞討論として「駐車場のスペース問題」「会員・非会員の問題」を取り上げ、今年の一月～三月号の紙面に皆様の御意見を掲載しましたが、この度自治会役員会の統一見解が出ましたので御報告申し上げます。

駐車場は、歩行者と自動車の区分が十分でないことから、立体化には強い反対があります。また一部には、駐車場を廃止して植栽を求める意見もあります。

(3) 運動の方向

基本的には計画時点の問題で、住宅建設者としての住宅・都市整備公団が負うべきものと考えます。

新聞討論

駐車場問題

会員・非会員の問題 自治会役員会の統一見解

(4) 駐車場の問題の障害

団地外の駐車場については、駐車料金の高騰・駐車場の減少傾向等があり難しい問題もありますが、安定的な確保を住宅管理組合とともに進めます。

(a) 共通の問題

住民の合意形成(車についての価値観・環境面・安全面)が必要である。建築基準法をクリアすることが必要である。駐車料金の引上げが必至となる。

(b) 賃貸住宅

他の既設団地では駐車場が一〇%台と低いので公団が優先順位等を理由に対応に消極的である。立体化にはコスト面で難色を示している。

(c) 分譲住宅

建設経費の捻出(修繕費の取崩し、または金融機関の融資)

について難しい問題がある。

(5) 共通の理解を深めるために

現在が「車社会」であると言う認識は持たざるを得ません。一方車の持つ様々なマイナスイ面についても理解する必要がある。自動車の使用頻度・使用目的などの現状から、レンタカー、マイカーリース制度の導入により、自動車の総量規制をすべきだとの意見もあり検討に値するものと思います。車を持つものは、それなりの社会的責任を負うのは当

下赤塚地区大運動会

●10月10日(火)体育の日

○下赤塚小学校校庭

○集合時間 A.M. 8:30

12号棟前に集合

○雨天の場合は10月22日(日)に延期

下赤塚大運動会に思う

今年も運動会の秋が来しました。当自治会も例年通り参加することになっていますが、本運動会も年々参加人数が減少し、さみしいかぎりです。それに当自治会は、毎年「ドンペケ」という成績で、他の町会・自治会からは、なんて弱い自治会なんだろうと思われるはずですが、参加するかぎりには優勝したいし、たとえ優勝できなくても優勝競いをしてみたいと思うのですが、われわれの勇み足でしょうか？われわれは、積極的に参加して頂き、これこそが「ゆり北」のパワーであるというところを他の団体に見せてあげようではないですか。積極的参加を、

会員・非会員の問題

自治会加入率は、現在八〇%です。未加入世帯に対して区別が必要ではないかとの意見があり討論に付しました。結果は、なんらかの区別必要二十六%、不要三十四%、わからない四十%と意見が三分しました。

討論の内容では、基本的には団地の中で「差別」が有ってはならないとの考え方です。また、会員を増やす提言として次のような意見が有り

ました。
*入会して「良かった」と思えるような啓蒙運動を
*入会するメリットを明確に
*もっと一般会員が参加できる事業を(こどもに偏り過ぎているとの指摘も有りました。)

「遠くの親戚より、近くの他人」との諺もあり、住民の輪が、幼児誘拐や放火などの防犯に最も有効である。との意見に代表されるように、自治会の活動への理解をしていただくために、引き続き会報「ゆり北」の全世帯配布を行います。

文化展

11月25日(土)26日(日)を予定しています。

○作品の出展を募集します。

○実行委員を募集します。

※くわしくは各棟に掲示するポスターをご覧ください。

ハッピー夏祭り

<ゆりの木>

待ちに待ったゆりの木最大のイベント「ゆりの木夏祭り」が、八月二十六日、二十七日に敢行されました。例年になく早目の企画と準備作業が功を奏し、順調にかつ楽しく進められました。今年は女性と子供達が予想以上(しかれるかな)に頑張ってくれたため、充実した夏祭りとなりました。例えば、舞台作りでも骨組まで女性陣が作ったため、男性陣としては、拍子抜けする場面もありました。とにかく女性のパワーには敬服しました。

祭りの当日は台風の影響で朝から雨になり、重い雰囲気でのスタートになりましたが、最悪のコンディションの中で、ほぼ成功といえる結果が得られました。台風にも負けなかった夏祭り”ができたことは、大変大い

お楽しみコーナー

スーパーボール 増田

ゆり北のビックイベント「夏祭り」も台風の影響で、皆が出かけて来てくれるか、チョット心配しながらの店開きでした。しかし、私の担当した、スーパーボールは猫の手も借りたい程忙しくなり、お手伝いの方々もお疲れになったと思いますが、子

御協力に感謝します

夏まつり実行委員長

吉柳 俊孝

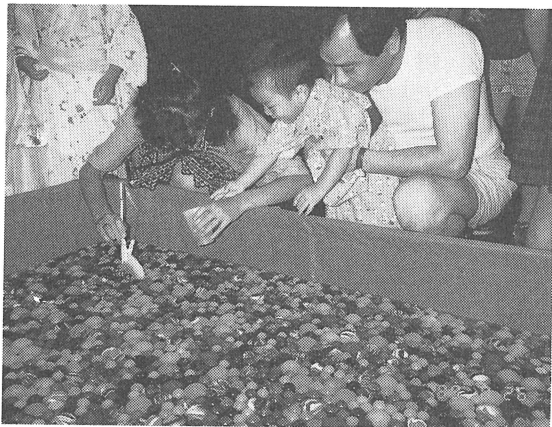
ゆりの木夏まつりは、台風の余波のなか雨と強風のなか、予定を縮小しましたが、無事終了いたしました。ご協力を感謝申し上げます。

今年は「のびのび子供会」の参加で楽しい人形劇を上演していただきました。又、子供実行委員会

きな自信になりました。

「来年の夏祭りは、より一層楽しいものにしたい」と実行委員一同、今から張り切っています。本夏祭りを盛り上げて頂きました皆様に感謝する次第です。会場近くの棟の皆様方には、大変お騒がせしました。

御協賛の金品を頂いた企業、個人の方々に感謝いたします。最後に、手伝ってくれた子供達本当に有難う。ボランティアの心と遊び心を持った大きな気持の人になって下さい。来年も手伝い期待して待っています。



供達に楽しんでもらえた事が、疲れをいやす良薬ではなかったかしら。ただもう少し、おまけを多く上げられると良かったと思いました。

の活動も準備段階から連続した取り組みにすることができました。

一方、十一・十三・十四号棟にお住まいの皆様には年一回とはいえ、お騒がせいたしました。どうぞご寛容下さい。実行委員の皆様には、準備・当日・後始末と連日、連夜ご協力をいただき有難うございました。ご家族の皆様になかなか迷惑をおかけしたのではないかと紙上を借りてお詫び申し上げます。

輪なげ

堤



色々と都合があり、準備会には出席せず、しかも二日目は欠席と、かなりいい加減で大変恐縮です。けれどその分子供たち(中学生の娘さん)が頑張ってくれてくれました。日頃、どんな子供たちが居るのか分からないオジサンたちにとっては、どこからワイた(失礼)のか?こんなに多くの元気ある子供たち(生意気なも居た)前途に栄光あれ、などと軽々しく感動してしまうのも無理ないところです。

お祭り以外でもオツキアイ(変な意味ではない)願いたいと思ってもダメ?かなあ。

でも、やっぱり「オジサン」と呼ぶのはやめてほしかった。

三角くじ

中森

準備段階で景品がなくなるわけで、おあわてノしかしリカバリがよく、なんとか大役もはたせました。慣れないこともあり、「くじ」の当たりはずれが不明確で苦勞しました。でも皆様に楽しんで頂けたと思っています。来年はもっと賞品を良くして、もっと楽しんでもらいます。

夏まつり 協賛企業・個人

三喜トヨペット株式会社	20,000
(株)ホンダクリオヒガシ東京	20,000
日本住宅情報センター	20,000
赤塚田柄団地建設協力会	10,000
ゆりの木商店会	10,000
ゆりの木北住宅管理組合	5,000
むつみ台自治会	5,000
団地サービス	5,000
津田電設	5,000
11号棟 内山様	5,000
〃 山下様、植松様	5,000
7号棟 島内様、牧野様	5,000
住都公団	3,000
のびのび子供会	2,800
計	120,800

物品

東京熱供給・東京電力・東京ガス
個人以外は敬称を略します。



写真

- ①スーパーボール たくさんすくおうよ(2段目)
- ②輪なげ 上手に入れてよね!(3段目)
- ③嵐の庭でもビールは最高デスネ!!(4段目)
- ④どれにしようかな?(下段 右)
- ⑤おみこしわっしょい!! ちょっとつかれたかな?(下段 左)



パットゴルフ

竹内

嵐にみまわれた夏まつりでしたが、皆様には楽しんでいただけたでしょうか？パットゴルフの担当をいたしました。今年は、何かおもしろいゲームに！と思って早くから準備をしたのですが、当日は、嵐！！場所も狭く、充分に楽しむことが出来なかったのでは？と反省しています。しかしながら、ゴルフのカップにボールが入ると、「あつ入った！入った！」と大喜び、カーブをつけて入ったり、ストレートで入ったり、ゴルフも大変面白いと思いました。来年は、楽しい遊び方を工夫して、よりおもしろ味のあるゴルフにしたいと考えております。

綿がし

福田

綿菓子屋のなげき！

今回の夏まつりは「雨まつり」と言った方がよいのではないかと？

二日間とも雨また雨。また二日目は強風も。綿は飛んでしまいわ、いくらフワとした綿菓子を作っても、すぐに縮んでしまいわ、白い色も茶色に変色してしまいわ。「どうにかならぬの？」と独言を言ってみても綿菓子は縮み上がるばかり。本当に悲しくなるよ！雨の日は、

又、激しい風や雨の中、むつみ台老人会・ゆりの木会の皆様には、お手伝いいただき、ありがとうございました。

うまくカップに入るかな？



それでも大人・子供が協力しあい、涙ぐましい努力をしてみました。縮み上がった綿菓子を買った人、どうもすみませんでした。許してね！来年こそは、「綿菓子屋のほほえみ」と題して、書いてみたいものです。

大きな綿がし作ってね
おじさん！



すてきな音楽ありがとう

金魚すくい

徳武

台風にもめげず、今年も「金魚すくい」に多くの人が集まり、熱気ムンムンでした。中には、とってもうまくすくう人もいるんだな！と感心しました。現代のように文明が発達しても、やはり獲物を取りたいという動物本能があるのでしょいか？



ヨーヨー

清水



私はヨーヨーの担当でした。ヨーヨーは準備の方が大変でしたが、皆さんに協力していただいたので、たすかりました。今年の夏まつりは台風の影響で天候が悪かったが、無事に終わって良かったと思います。



くるんぼ大会

暗いロビーで審査の先生方も大変でした。
入賞おめでとう！！

笛の演奏たのしかったよ



自治会主催
長寿を祝う会

9月15日敬老の日



残暑の残る十五日、自治会主催の敬老の集いが催されました。現在、ゆり北団地には、六十五才以上のおとしよりは八十六人、内七十才以上の方は四十七人います。当日は、元氣いっぱいのおとしよりは、二十三名集まりました。各会長の挨拶のあと、夏まつりチャリティゴルフの売上金の一部をゆりの木会・むつみ台老人会に贈呈しました。今年、蔵内さんの琴の演奏で、出船や荒城の月等、青春時代にかえり、皆で大合唱をしました。カラオケに合わせて、踊りを踊ったり、フォークダンスをしたり、楽しいひとときを過ごしました。又自治会からは、七十才以上の方に記念品（ヘルスローラ）を贈りました。

私の夏休み 四号棟 吉柳俊孝

昨夏は体調をくずし、夏山を見送りましたので、一年ぶりに山歩きをしました。行先は北ア・燕岳―餓鬼岳の縦走です。燕岳は「表銀座コース」の玄関で登山者が多くて有名です。収容六百名の燕山荘があります。

屋は十七名の登山者だけでも一杯になる北アルプスでは数少ない昔風の山小屋。薪ストーブにあたりながら泊り客の全員で山の話をする楽しさがここには残っています。

でも、最後の餓鬼岳の下りはキツイ。六百米を百余のハシゴの連続の下りがある。これが餓鬼岳を静かな山にしているのかも知れない。

北燕岳の稜線には高山植物の女王といわれる「コマクサ」の大群落に感激しました。大多数の登山者もここまでは足を伸ばしませんので、静かな雰囲気でお花畑を楽しむことが出来ます。一気に下った東沢乗越から、東沢岳・餓鬼岳の稜線は、ハシゴ・クサリもあってスリリングな登行が楽しめます。そして子づれの雷鳥にも二回会うなどラッキーでした。燕岳の大きな小屋に比べて、餓鬼岳小



よくきた 餓鬼岳

ゆりっぺさん ユキマコ



『お父さんの昼さがり』

お風呂で歌えば

八号棟 坊野 秀美

ゆり北に住む前は、高島平で十年間暮らしました。早まって結婚してしまつたものの、住むところが決まっていまふでしたから、新婚なのに一ヶ月ほど別居を余儀無くされました。その間に、当たれば儲けものくらしいの気持ちで申し込んでいた高島平の2DKが当たった時には、本当に嬉しかったものです。

私は風呂というものは、歌を歌って入るものだと思つていました。それまでは崩れかけたアパートに住んでいましたから、もちろん内風呂などありません。もっぱら銭湯通いでした。いくら何でも銭湯では歌を歌えません。ですから、狭いながらも風呂が家にある生活が嬉しくてなりません。毎日帰宅すると、いい気持ちで歌いながら入浴しました。

す。エサの関係でなわばりが決まるためですが、霜のおりた朝など、鵜の姿をみると、生きるというところの厳しさが伝わってきます。

ところが、入居後三、四日経ったころに、隣のオバサンが怖い顔でやってきて、「風呂場で歌を歌うのは止めて下さい。毎日毎日、迷惑しているんですよ!」と言われました。これには驚きました。そんなこと少しも考えていませんでしたから、なるほどなあ、団地というのは、こういうところだったのか、と叱られて初めて知ったのです。

他にも、トイレの水を夜中に流さない、とか、床の足音が階下の家に意外に響くものだ、とか、暮らしていくうちに団地生活のルールが次第に分かってきたのでした。我が家の前のお宅では、上階のお宅と足音のことで大トラブルが起き、ついには

シリーズ バードウォッチング 公園でつるよ 7 ツグミ

ねりま自然のなかま

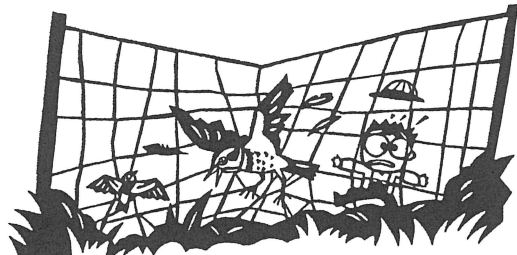
田中 勝子

秋の渡りがはじまりました。光が丘公園でみられる冬鳥は二十六種。なかでも目立つのはツグミ(鶉)です。十月下旬から十一月にかけて、シベリアから渡ってきて、日本海を横断し、石川・富山・長野・岐阜を経て本州各地に分散します。この時季に話題になるのが震網で、使つてはいけない(鳥獣保護法)が、生産してもよい(通産省) ことになっている法の抜け穴を利用して、野鳥の密猟が横行、愛鳥家を歯ざしりさせます。

江戸時代ならともかく現代は飽食の時代。なのにいまだに野鳥提供の店があつて年間数十万羽のツグミが犠牲になっています。

そういう危険をくぐり抜けて、光が丘に到着したツグミに出会うと、感動します。

渡りの初めの頃は高い樹の上で、しばらくすると地上でエサをとる姿がみられます。体色は赤褐色の強いのとグレー味の濃いのがあり、顔にはクッキリと淡褐色の眉斑が目立ちます。胸を張って、トトトト...と歩くのですぐわかります。渡りのときは大群ですが、越冬は一羽ずつで



会報「ゆり北」に投稿してみませんか!

特に一月の特集号に掲載する原稿を募集しています。
自分で書いた原稿が活字になるのは楽しいことです。
テーマは別に限定しませんので、自由に書いて下さい。

問い合わせ先: 3-404福田 (975-2413)、10-905竹内 (977-9340)
14-409 堤 (977-7283)

広報部お知らせ

今月号は紙面の関係で恒例の新聞討論はお休みさせていただきます。また来月号より続けますので皆様方のご協力をお願いします。

編集後記



今月号では、今まで報告を約束しておりました新聞討論「駐車場スペースの問題」「会員・非会員の問題」について、当自治会の九年度の役員会で、皆様方より寄せられた意見に対し、当自治会が今後、どう取り組むべきかを討議し、その統一見解(活動方針)を決定し、今月号に掲載することができました。両問題共大変デリケートな側面があり、意見自体も対立していたため、統一見解を決定するのに大変時間がかかったわけです。今後とも別の題材で新聞討論を継続し、少しでも多くの人の意見を各人が理解し合えるようにしていけたらと思っています。

これから秋たけなわとなり行楽にスポーツにと皆様方も色々なプランをお建てのことと思いますが、どこかにでかけたら必ず感想文等を書く習慣を付け、是非とも会報「ゆり北」へ投稿するようにしてもらえると広報部としては、大変うれしいのですが、どうでしょうか?一度考えてみて下さい。

引越していく事態にまでなつてしまいました。
それからは、私、ひっそりと暮らすように心がけ、今でもそのつもりではありますが、酔って気が大きくなったりしたとき、つい風呂場で歌が出てしまったりします。
お隣の藤本さん、御免なさい。